

令和元年度

# 経営発達支援計画評価報告書

本報告は、事業2年度にあたり下記のとおり

- I. 経営発達支援事業の内容について6項目
- II. 地域経済の活性化に資する取組
- III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

について報告いたします。

総合評価の基準は

A→ 実施され効果（活用）がみられたもの、若しくは期待できるもの

B→ 実施されたが効果（活用）がみられないもの

C→ 実施されなかった若しくは実施されたが回数等が大幅に目標を下回っているもの

三戸町商工会

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	総合評価
<p>I. 経営発達支援事業の内容</p> <p>1. 地域の経済動向調査に関すること</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <p>(1) 巡回訪問による小規模事業者の景気動向調査 管内を5地区（八日町地区、二日町地区、川守田地区、同心町地区、バイパス・目時・斗内地区）に分け、巡回訪問の際に景気動向調査を行う。対象事業所は、製造業・建設業・卸小売業・飲食業・サービス業・その他事業で各5事業所とする。独自のヒアリングシートを作成し項目は「業況、売上、経常利益、資金繰り、雇用人数、設備投資、仕入れ価格、在庫、取引先、業界情報、困っている事等」を盛り込み、情報を収集し業種別・地域別に整理分析を行い精度の高い経済動向を掴み発信する。</p> <p>(2) 民間及び政府系金融機関からの地域経済や金融動向把握 町内金融機関とは随時日程を調整して年1回懇談会を実施し、管内の景気や経済動向、物価、融資件数、資金使途、土地の情報、空き店舗情報、業界情報等について情報交換する。また、日本政策金融公庫八戸支店とは年に2回開催されるマル経協議会と夏・冬に開催する金融一日相談会など顔を多く合わせる機会があるので、その都度情報を収集する。収集した情報は事業計画策定支援や金融支援に活用する。</p>	<p>◆小規模事業者の景気動向調査 12月：122事業所 調査結果について職員で情報共有している 商工会HPへ公開</p> <p>◆地域経済や金融動向把握 ・金融懇談会 12月20日 16名出席 ・マル経協議会 6月13～14日 ・一日公庫 7月17日、11月20日</p>	

経営発達支援事業の内容及び実施期間						実施内容		総合評価					
<b>【目標】</b>						<b>【実績】</b>		総合評価 A B C					
支援内容	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	支援内容	平成 31 年度						
ヒアリング景 気動向調査	1 回	2 回	2 回	2 回	2 回	ヒアリング景気動向 調査	1 回						
金融機関からの 景気動向調査	3 回	3 回	3 回	3 回	3 回	金融機関からの景気動 向調査	4 回						
HP、会報によ る情報提供	3 回	3 回	3 回	3 回	3 回	HP、会報による情報 提供	2 回						
2. 経営状況の分析に関すること【指針①】						◆事業計画策定セミナー		総合評価 A B C					
<b>【事業内容】</b>						日時 令和元年 11 月 11～12 日							
セミナーを開催することによって経営分析を望む事業者の掘り起こしを行い、事業者の課題（事業所ヒアリングシート及び事業計画づくりサポートキット活用）を抽出し分析結果を提示するとともに経営計画策定における活用を支援する。						場所 三戸町商工会館							
なお、この取り組みによって小規模事業者が抱える問題を的確に捉え、現在の経営状態・今後の方向性を導く経営分析を行うことが出来る。						講師 税理士 石橋博仁氏							
<b>【目標】</b>						<b>【実績】</b>							
(単位：件)						支援内容		平成 31 年度					
項目	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	事業所ヒアリ ングシート活 用件数	21 社						
事業所ヒアリングシートの活用 件数	20	25	25	40	40	経営分析件数	9 社						
経営分析の件数	15	20	20	30	30	専門家による 経営分析件数	9 社						
専門家等による経営分析件数	3	5	5	5	5								

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	総合評価
<p>3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】</p> <p>【事業内容】</p> <p>(1) 事業計画策定支援  経営分析を行った事業所を対象に、自らが将来展望を描けるような経営計画策定セミナーを開催し、調査から得られる消費者ニーズをつかみつつ各企業の強みを活かした計画策定を後押しする。</p> <p>(2) 創業・事業承継支援</p> <p>① 創業を目指している方を対象としたセミナーは各関係機関と連携して行うことにより周知範囲を広め参加者の掘り起こしに努める。また、創業に向けた事業計画や金融機関からの資金調達の支援、創業補助金の活用支援を行い、創業者が持続的に発展できるよう支援する。</p> <p>② ヒアリングシートで事業承継を希望した事業所には、事業承継するための様々な課題について巡回訪問を通じてヒアリングを行いながら、承継の方法、時期、承継の際の税務面での取り扱いなど小規模事業者の希望に沿った形で整理を行う。併せて、具体的な事業承継事例や留意点などを踏まえたセミナーや個別指導を行い計画の策定を支援する。</p>	<p>◆農林水産業起業支援セミナー  日時 令和元年9月27日  場所 三戸町商工会館  講師 中小企業診断士 山田貴弘氏  出席者数 9名</p> <p>◆専門家派遣事業  県連エキスパート 4社  よろず移動相談 2社</p> <p>◆金融個別相談  日時 令和元年7月17日 5社  令和元年11月20日 3社  場所 三戸町商工会館</p> <p>◆日本政策金融公庫と経営指導員との「共同巡回」  令和元年11月20日 2社</p>	

経営発達支援事業の内容及び実施期間						実施内容		総合評価								
<b>【目標】</b>						<b>【実績】</b>		総合評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			A	B	C			
A	B	C														
	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	支援内容	平成31年度									
事業計画策定事業者数	10	15	15	20	20	事業計画策定セミナー	(1回) 9名									
創業支援者計画策定事業者数	2	3	3	3	3	農林水産業起業支援セミナー	(1回) 9名									
事業承継計画策定事業者数	2	3	3	3	3	持続化補助金事業計画作成	7件									
事業計画策定のセミナー開催回数	1	1	1	1	1	金融支援(マル経)	7件									
事業計画策定セミナー受講者目標数	15	15	15	15	15	金融支援(マル普)	8件									
セミナー開催(農商工連携、6次産業化)	計画立案	1	計画立案	1	計画立案											
セミナー(農商工連携、6次産業化)受講者目標数	—	15	—	15	—											
創業セミナーの開催(個別指導)	1	計画立案	1	計画立案	1											
創業セミナー受講者目標数	5	—	5	—	5											
事業承継セミナーの開催(個別指導)	1	計画立案	1	計画立案	1											
事業承継セミナー受講者目標数	5	—	5	—	5											

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	総合評価																																						
<p>4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <p>(1) 事業計画策定後の実施支援は、事業計画策定支援を行った全ての事業者を対象とし当該事業計画期間中は必ず行うものとする。</p> <p>(2) 事業計画策定後の実施支援は事業計画に従って行われる事業が計画通り確実に実施され、課題が解決し、目標が達成されることを目的に、個々の事業者のペースと頻度、必要量を見極め、必要な時に必要なだけの伴走型支援を行うことを基本的な支援スタンスとする。</p> <p>(3) 専門的かつ高度な指導・助言レベルである場合には、中小企業診断士等の専門家を派遣（青森県、青森県商工会連合会、青森県よろず支援拠点等）連携するほか、ミラサボも活用し、効果的な専門家派遣を実施する。</p> <p><b>【目標】</b></p> <table border="1" data-bbox="219 887 1339 1145"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>33年度</th> <th>34年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フォローアップ支援事業者数</td> <td>14</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>26</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>フォローアップ回数</td> <td>56</td> <td>84</td> <td>84</td> <td>104</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>専門家派遣回数（指導・助言による連携支援）</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>	内容	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	フォローアップ支援事業者数	14	21	21	26	26	フォローアップ回数	56	84	84	104	104	専門家派遣回数（指導・助言による連携支援）	3	5	5	7	7	<p>◆経営指導員によるフォローアップ指導 巡回訪問の際に事業計画の進捗状況を 確認すると共に課題について指導助言</p> <p>◆専門家によるフォローアップ個別指導 日時 令和2年1月30～31日 場所 三戸町商工会館 個別相談 4名</p> <p><b>【実績】</b></p> <table border="1" data-bbox="1352 887 1827 1278"> <thead> <tr> <th>支援内容</th> <th>平成31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フォローアップ 支援事業者数</td> <td>16社</td> </tr> <tr> <td>フォローアップ 回数</td> <td>48回</td> </tr> <tr> <td>フォローアップ 個別指導</td> <td>(2日) 4名</td> </tr> </tbody> </table>	支援内容	平成31年度	フォローアップ 支援事業者数	16社	フォローアップ 回数	48回	フォローアップ 個別指導	(2日) 4名	<p>総合評価</p> <table border="1" data-bbox="1879 984 2152 1083"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C			
内容	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度																																			
フォローアップ支援事業者数	14	21	21	26	26																																			
フォローアップ回数	56	84	84	104	104																																			
専門家派遣回数（指導・助言による連携支援）	3	5	5	7	7																																			
支援内容	平成31年度																																							
フォローアップ 支援事業者数	16社																																							
フォローアップ 回数	48回																																							
フォローアップ 個別指導	(2日) 4名																																							
A	B	C																																						

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	総合評価
<p>5. 需要動向調査に関すること【指針③】</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <p>(1) 自店の利用客に対するお客様アンケート調査 (調査概要) 事業計画を策定する小規模事業者を対象にお客様アンケートを実施する。このアンケートは地元消費者の利用拡大を目的に自店の利用客を対象として行い分析して基礎データとして活用する。</p> <p>(調査方法) 事業計画を策定した小規模事業者を対象に自店の商品やサービスについての満足度調査を行う。個店利用時に直接ヒアリング又は郵送により実施する。</p> <p>(調査項目)</p> <p>①基本項目 年齢、性別、居住地域、来店頻度など</p> <p>②個別項目 店の雰囲気、商品や品揃えなどに対する満足度</p> <p>(活用方法) 調査結果は、集計・分析を行い経営分析での強み弱み等も加味しつつ個別の事業者に還元し、新規顧客獲得や新商品開発、改良、品揃えの改善などお客様のニーズ及び要望を捉えた個社の事業計画策定に反映させる。</p>	<p>◆自店の利用客に対するお客様アンケート調査</p> <p>実施店舗 飲料小売店（主にお酒）</p> <p>実施日 令和元年12月1日～ 1月14日</p> <p>回答枚数 17枚</p>	

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	総合評価
<p>(2) 地域資源を活用した特産品の需要動向調査</p> <p>(調査概要)  地域資源を活用した特産品などの開発・販売を目指す地域の食品製造・小売り事業者を活用する調査として需要調査を実施する。</p> <p>(調査方法)  商談会への出展を希望している事業者や「さんのへ逸品」の既認定事業者や認定を目指している事業者等を対象に既存商品や新商品についてのアンケートを実施する。</p> <p>(調査項目)  ①基本項目 居住地域（町内、県内、県外等の別）性別、年代など  ②商品について 味、量目、デザインなどに関する満足度（5段階評価）  改善点や要望などの具体的意見</p> <p>(活用方法)  調査結果は、整理、分析して巡回訪問等を通じて個別に事業者を提供し、新商品の開発や既存商品の見直しなど、個社の販路拡大に繋がる事業計画に反映させる。</p>	<p>◆地域資源を活用した特産品の需要動向調査</p> <p>八戸市が企画した物産展「ナニャドヤラフェスタ」に於いて実施</p> <p>実施日 令和元年 8 月 24 日～25 日</p> <p>対象品目 8 種類</p> <p>回答枚数 100 枚</p>	



経営発達支援事業の内容及び実施期間						実施内容		総合評価								
<b>【目標】</b>						<b>【実績】</b>		総合評価 <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			A	B	C			
A	B	C														
内容	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	内容	平成 31 年度									
自店の利用客に対するお客様アンケート調査（企業数）	10社	15社	15社	20社	20社	自店の利用客に対するお客様アンケート調査（企業数）	1社									
〃（調査回収枚数）	1事業所1商品当たり30枚集める	1事業所1商品当たり30枚集める	1事業所1商品当たり30枚集める	1事業所1商品当たり30枚集める	1事業所1商品当たり30枚集める	調査回収枚数	17枚									
さんのへ逸品認定事業者等が取り扱う特産品の需要動向調査（企業数）	5社	5社	10社	10社	10社	さんのへ逸品認定事業者等が取り扱う特産品の需要動向調査（企業数）	4社									
〃（調査回収枚数）	1事業所1商品当たり30枚集める	1事業所1商品当たり30枚集める	1事業所1商品当たり30枚集める	1事業所1商品当たり30枚集める	1事業所1商品当たり30枚集める	調査回収枚数	100枚									

経営発達支援事業の内容及び実施期間		実施内容	総合評価														
<p>6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】</p> <p>【事業内容】</p> <p>(1) 販路開拓支援</p> <p>①商談会・展示会を活用した販路開拓</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>商談会名</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">B to B</td> <td>FOOD MATCH AOMORI「あおもり食品展」</td> <td>食品製造や加工事業所を対象に、新商品開発や域内外への販路開拓を目的とした商談会。企業間連携や情報収集による知名度向上を支援</td> </tr> <tr> <td>ニッポン全国物産展</td> <td>地域資源や伝統技術を活かした新しい商品づくりなど地域の特色を生かした産品を集め、流通業者や消費者等に紹介することにより、新たな出会いや市場開拓等を支援</td> </tr> </tbody> </table> <p>②アンテナショップを活用した販路開拓</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>出展先名</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B to C</td> <td>むらからまちから館</td> <td>首都圏における新たな市場開拓、アンテナショップを活用した地元特産品の新市場開拓、競合他社との比較による商品改良、販促手法の見直し等</td> </tr> </tbody> </table>		対象	商談会名	内容	B to B	FOOD MATCH AOMORI「あおもり食品展」	食品製造や加工事業所を対象に、新商品開発や域内外への販路開拓を目的とした商談会。企業間連携や情報収集による知名度向上を支援	ニッポン全国物産展	地域資源や伝統技術を活かした新しい商品づくりなど地域の特色を生かした産品を集め、流通業者や消費者等に紹介することにより、新たな出会いや市場開拓等を支援	対象	出展先名	内容	B to C	むらからまちから館	首都圏における新たな市場開拓、アンテナショップを活用した地元特産品の新市場開拓、競合他社との比較による商品改良、販促手法の見直し等	<p>◆FOOD MATCH AOMORI「あおもり食品展」</p> <p>期 日 令和2年1月29日</p> <p>場 所 ホテル青森</p> <p>出展業者 2社</p> <p>◆ニッポン全国物産展</p> <p>期 日 令和元年11月22～24日</p> <p>場 所 池袋サンシャインシティ</p> <p>出展業者 1社</p> <p>◆さんのへ逸品の展示販売イベント 南部圏ナニャドヤラフェスタ 農林商工まつり、まける日</p> <p>出展商品 13品</p> <p>◆アンテナショップへの出展</p> <p>日 時 通年</p> <p>場 所 東京有楽町「むらからまちから館」</p> <p>出展業者 2社</p> <p>◆道の駅へ地元商店臨時出展</p> <p>日 時 令和元年10月27日</p> <p>出展業者 2社</p>	
対象	商談会名	内容															
B to B	FOOD MATCH AOMORI「あおもり食品展」	食品製造や加工事業所を対象に、新商品開発や域内外への販路開拓を目的とした商談会。企業間連携や情報収集による知名度向上を支援															
	ニッポン全国物産展	地域資源や伝統技術を活かした新しい商品づくりなど地域の特色を生かした産品を集め、流通業者や消費者等に紹介することにより、新たな出会いや市場開拓等を支援															
対象	出展先名	内容															
B to C	むらからまちから館	首都圏における新たな市場開拓、アンテナショップを活用した地元特産品の新市場開拓、競合他社との比較による商品改良、販促手法の見直し等															

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	総合評価
<p>③E Cサイトを活用した販路開拓</p> <p>○目 的：情報技術を活用した販路開拓を支援し、競争力のあるニッチ分野等のコンセプトを絞った商品を全国に発信することで、新たな需要の創出を図る。</p> <p>○実施内容：E Cサイト「ニッポンセレクト（※1）」（全国商工会連合会運営）の推</p> <p>（※1）【ニッポンセレクト】全体売上高：約1億3千万円 ・取扱品目：約9,000品目</p> <p>（2）情報発信支援</p> <p>①インターネットを活用した情報発信</p> <p>○目 的：インターネットを活用した小規模事業者の情報発信体制の構築を支援することで、企業情報等の開示による信頼度及び認知度の向上を図り、新たな需要の創出に結び付ける。</p> <p>○実施内容：⑦SNS（フェイスブック、LINE 等）の導入・活用支援 ⑧HP作成支援システム「SHIFT（※1）」（全国商工会連合会運営）の導入・活用支援</p>	<p>◆E Cサイト「ニッポンセレクト」出展</p> <p>日 時 通年</p> <p>サイト 全国商工会連合会</p> <p>出展業者 1社</p> <p>◆H P作成支援システム活用事業所4社予定</p>	

経営発達支援事業の内容及び実施期間						実施内容		総合評価		
【目 標】						【実績】				
項 目	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	支援内容	平成 31 年度			
(1)①② 商談会・アンテナショップ への出展 ※上段：出展件数 下段：商談成立件数	3 件	3 件	5 件	5 件	5 件	商談会アンテナシ ョップへの出展	3 件			
	2 件	2 件	3 件	3 件	3 件	商談継続件数	3 件			
(1)③ ECサイト出店 ※上段：出店件数（延べ） 下段：受注件数	3 件	5 件	7 件	7 件	10 件	EC サイト出展	1 件			
	10 件	20 件	50 件	70 件	100 件	受注件数	12 件			
(2)① SHIFT掲載 ※上段：掲載件数（延べ） 下段：新規取引件数	10 件	15 件	20 件	25 件	30 件	簡易ホームペー ジ掲載	4 件			
	5 件	7 件	10 件	12 件	15 件	新規取引件数	0			

  

総合評価		
A	B	C

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	総合評価						
<p>II. 地域経済の活性化に資する取組</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <p>(1) 地区内商店会及び「まちの楽校」と連携し、更には古くから伝わる「市日」動したイベントを行い、中心商店街の賑わいを創出し地域の活性化を促進する。</p> <p>(2) 当商工会では4年前より「道の駅さんのへ」の指定管理を受け、観光協会と共同体を組織し経営を担っている。また、平成29年には隣接地に町営のパークゴルフ場がオープンしたことから、両施設の相乗効果を十分に発揮して小規模事業者の臨時出店等促し販売促進を支援する。</p> <p>(3) 当町は観光資源も多く季節に合わせた四季折々の祭りがおこなわれている。このようなイベントへ町内外の集客（観光客）を促進する方策について関係者と協議を重ね内容の充実に努め、小規模事業者の販売促進と商店街への招致強化（観光客を商店街へ）を推し進める。</p>	<p>◆「まちの楽校」との連携 まちの楽校企画イベントに協賛 12回</p> <p>◆道の駅の指定管理 運営委員会の開催 12回</p> <p>◆さんのへ夏まつりの企画運営 令和元年8月9～10日</p> <p>◆農林商工まつりの共催 令和元年11月30～12月1日</p> <p>◆さんのへ名物元祖まける日の企画運営 令和2年2月8～9日</p>	<p>総合評価</p> <table border="1" data-bbox="1879 791 2152 892"> <thead> <tr> <th data-bbox="1879 791 1968 842">A</th> <th data-bbox="1968 791 2058 842">B</th> <th data-bbox="2058 791 2152 842">C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1879 842 1968 892"></td> <td data-bbox="1968 842 2058 892"></td> <td data-bbox="2058 842 2152 892"></td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C			
A	B	C						

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	総合評価
<p><u>Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組</u></p> <p>【事業内容】</p> <p><b>1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること</b></p> <p>(1) 日本政策金融公庫が主催する「経営改善貸付連絡協議会」に出席し金融動向について情報を得ると共に小規模事業者等に対する支援事業、支援ノウハウについて情報交換を行う。</p> <p>(2) 青森県商工会連合会が主催する「経営指導事例研究発表会」に出席し、県内の経営指導員が取り組んだ創業や事業承継等の支援事例や支援ノウハウを学ぶと共に支援上の課題について情報交換を行う。また、当商工会が所属する県内ブロックの6商工会で職員同士の情報交換会を年に1回開催、地理的条件が類似する小規模事業者がどのような課題を抱えているか、また、新たな需要の開拓を進めることを狙いとした個社支援の成功事例や失敗事例の情報交換により支援ノウハウの習得を図る。</p> <p>(3) 中小企業基盤整備機構の登録専門家等の派遣を受け、企業支援を実施する過程で他県事例や、企業支援事例等の情報収集を行い、支援ノウハウの習得を図る。</p>	<p>◆経営改善貸付連絡協議会 1回目 令和元年6月13～14日</p> <p>◆経営指導員事例研究発表県大会 日時 令和元年11月28日 場所 青森国際ホテル</p> <p>◆ブロック情報交換会 事務局長 令和元年12月6～7日 経営指導員 令和元年12月5～6日 主査・主事 令和元年11月5～6日</p> <p>◆21 あおもり産業支援センター よろず移動相談日 相談者2件</p>	

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	総合評価						
<p><b>2. 経営指導員等の資質向上等に関すること</b></p> <p>(1) 毎年4月に事務局長と職員全員が面談を行い、職員が自ら身に着けたいとするスキルや客観的に見て不足しているスキルを評価・把握し、その結果に基づき事務局長が資質向上プログラムを作成し、併せて職員に周知し、次に示す職員の外部研修等派遣計画を含め、資質向上に取り組むこととする。</p> <p>(2) 経営指導員は、青森県商工会連合会が主催する経営指導員研修会（総合研修・職種別研修）に参加し、小規模事業者の経営改善支援能力の向上を図るとともに、専門家を小規模事業者に派遣する際には必ず同行し、専門家の指導・助言内容、情報収集方法を学び支援能力の向上を図る。</p> <p>(3) 経営支援スタッフ（補助員、記帳専任職員、記帳指導員）においても、青森県商工会連合会が開催する職制別研修会に参加し、支援企業の売上や利益確保、経営課題解決を重視した支援能力の向上を図り、全職員のレベルアップを目指す。</p> <p>(4) 組織内で経営支援ノウハウの共有を図り、全職員による指導・助言ができる指導体制を作り、外部研修及びOJTによる伴走型支援能力の向上を図る。</p>	<p>◆経営指導員研修会（2名）</p> <p>第1回 令和元年6月11～12日</p> <p>第2回 令和元年10月18日</p> <p>第3回 事業団研修 11/11～12/6</p> <p>◆経営支援スタッフ研修会（3名）</p> <p>主事研修会 令和元年11月19日 令和元年11月25日</p> <p>職員研修会 令和元年11月19日</p> <p>新任職員研修会 令和2年1月20～21日</p>	<p>総合評価</p> <table border="1" data-bbox="1879 647 2152 746"> <thead> <tr> <th data-bbox="1879 647 1968 699">A</th> <th data-bbox="1968 647 2058 699">B</th> <th data-bbox="2058 647 2152 699">C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1879 699 1968 746"></td> <td data-bbox="1968 699 2058 746"></td> <td data-bbox="2058 699 2152 746"></td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C			
A	B	C						